

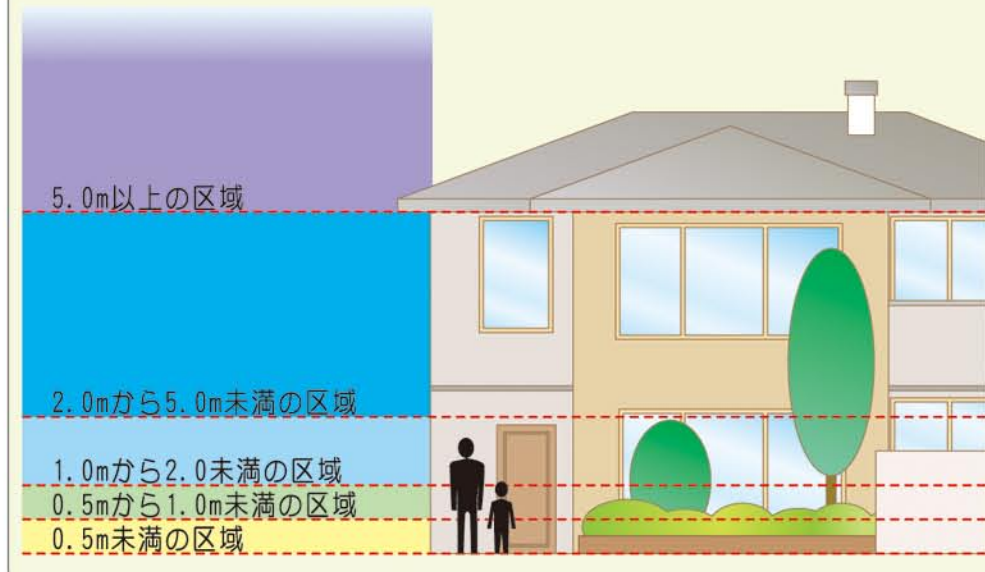
この浸水想定区域図は、200年に一度の大雨で一級河川江戸川が増水し、万が一、市内の堤防が決壊した場合に想定される浸水状況を表したものです。

出典データ

● 利根川水系江戸川浸水想定区域図(H17.3.28)
国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所

浸水予測は江戸川において、昭和22年のカスリーン実績降雨(八斗島上流3日間総雨量318mm)と同等の大雨が降った場合を想定して作成しています。

浸水想定区域の見方



凡例

- 避難場所
- 緊急避難場所 (一部浸水します)
- 市役所
- 消防署・出張所
- 救急医療機関
- 警察署・交番
- 防災無線
- テレメータ(雨量・水量)
- 洪水時危険箇所 (アンダーパス・地下空間等)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 緊急輸送路

水防警報の段階・時期及び措置

計画高水位
川の堤防工事などの基礎で、その堤防が耐えられる最高の水位。

警戒水位
水害に備え各水防機関が出動し、警戒にあたる水位。

指定水位(通報水位)
各水防機関が水防活動に對して準備する水位。

待機・準備
大雨に関する警報が出されるなど、水害が心配される場合に水防等は待機します。川の水位が指定水位に達して、なお上昇する場合、水防等は出動の準備をします。

発動
川の水位が警戒水位に達し、なお上昇の恐れがある場合、水防等は出動し水防活動を行います。

解除
警戒水位を下回り、水害の心配がなくなったとき、または、水防活動が必要なくなったときに解除します。